

定例教育委員会会議録

令和元年12月24日

境港市定例教育委員会（令和元年12月24日委員会会議録）

招集年月日 令和元年12月24日 15時30分

招集場所 市役所第一会議室

開 会 15時30分 教育長宣言

教育委員会 教育長 松本 敏浩

委 員（職務代理人） 中田 耕治

委 員 徳永 由樹 十河 淳 渡邊 不二子

教育長から説明のため出席を求められた者

教育委員会事務局次長兼

教育総務課長 木村 晋一

教育委員会事務局長 松原 隆

教育総務課長補佐 吉川 秀樹

学校給食センター所長兼

教育総務課長補佐 松本 昭児

教育総務課指導係主幹 築谷 健作

生涯学習課長 黒崎 享

生涯学習課長補佐 北野 瑞弘

教育総務課管理係長 荒岡 真樹

傍聴者数 なし

会議書記 教育総務課管理係長 荒岡 真樹

協議事項 12月定例市議会教育委員会関係質問答弁について

報告事項 12月の行事報告、1月の行事予定など

市独自でもこういった事業を実施することができます。局長が言ったとおり、相性によって、向いている子どもと、活用が難しい子どもがいると聞いています。やはり、一人任せは難しく、誰かが支援をして初めて、自己学習ができる」と県から報告がありました。場合によっては、やすらぎルームでこのシステムを使えるようにして、職員がいますので、そういった環境で学習をすることは、市独自でやろうと思えば可能だと思います。

中田委員

この事業は非常に有効だと思います。不登校の期間が長ければ長いほど、子ども自身もそうですが、保護者も、学力の遅れが非常に気になって、それがきっかけで、また学校に行けないということにもなります。こういった仕組みを有効に活用できるような体制を作ってほしいです。

松本教育長

県からこの事業の説明を受けた時に、活用の仕方はいろいろあると思いました。学校でも、教室には入れないけれども特別教室で学習している生徒がいます。その生徒に必ず先生がつくというのは人数が限られていて難しいことがあります。そういったときにこのシステムを使って指導して、学習することができるかと思います。いろいろな方法で活用ができるかと思います。これからもこの事業を研究していきたいと思います。

渡邊委員

フリースクールを利用している生徒がいるようですが状況を教えてください。

松本教育長

中学生ではありませんが、高校へ進学する子どもがフリースクールを利用しています。適応指導教室としてのフリースクールの活用はありません。米子の皆生にあります。アパートを借り上げて、部屋にテーブルがあってそこで学習をするようになっています。アットホームな環境なので、そこに行けば落ち着いて学習ができるかと思いますが、施設に行くためにはJRで米子まで出て、バスで皆生まで行かなければなりません。通学に1時間以上かかることとなります。

木村次長

先日、施設を訪問して校長先生から話を聞いてきました。授業時間は10時から3時で、弁当を持参して登校するようになっています。小学生が二人、中学生が一人、高校生が一人が学

習していました。アパートの8戸を使用して、グループで学習できない子どもは個別の部屋で勉強ができるようになっていました。

渡邊委員 現在通学しているのは、高校進学を目指している子どもということですが、そこのフリースクールに通うようになったのは、自分で施設を探したのでしょうか。

松本教育長 そうです。中学校でもフリースクールの情報を持っていなくて、保護者が探して通学するようになりました。

木村次長 この施設は、長野県にあるさくら国際高等学校の米子キャンパスという位置づけにもなっています。

松本教育長 高校の卒業認定を受けることもできます。

渡邊委員 そういった子どもは多いと思いますので、ぜひ学校でも情報をもって対応していただきたいと思います。

木村次長 訪問した際に、パンフレットをもらい市内の各小中学校に配布し情報提供しました。

松本教育長 そのほか質問等ありませんか。

渡邊委員 教員の働き方改革についてですが、変形労働時間が導入されると思いますが、通常の勤務に時間外勤務が加わり、それから会議が始まったりすると、保育園の迎えや、介護などをしなければならぬ教員に負担がかかってきて、また苦しむ原因になっていくのではないかと心配しています。そういったことも教育委員会で十分理解してもらい、対策をしていただきたいと思います。

松原事務局長 今回法案が成立して、長期休業中に休日をまとめて取得できるようになりますが、渡邊委員が言われるように、日頃の業務の質を上げていき、時間内に業務を終えるような業務改善をしていく必要があると思います。時間だけ削減して、中身が全く変わらなければ、働き方改革とは言えません。議会答弁で、教

育長も発言しましたが、先生がいきいきと職場で子どもたちに笑顔を見せながら働くということが大切だと思います。

渡邊委員

よろしく申し上げます。

松本教育長

私の経験でも学校と家庭だけを行き来している生活だけの教養では子どもに魅力的な授業をすることができないと感じています。自らがいろいろなことを学ぶ、体験があって初めて、子どもたちに主体的な学びを提案できるという部分があります。そういったことが働き方改革の大きな目標になっているのではないのでしょうか。教員自らが時間を有効に使って、いきいきと学んだことを学校に還元することが重要だと思います。単に労働時間を減らすということだけでは、いろいろな弊害が出てくると思います。上限の時間が決まったので、それは守っていかなければなりません。まだまだ、うまくいっていないのが実態ですが、これから工夫しながら学校の環境を変えていかなければならないと思います。そのほか質問等ありませんか。

中田委員

最近、コミュニティ・スクールの力を借りながらという表現が使われますが、コミュニティ・スクールが導入されてもすぐに活用できるわけではないし、これから境港市内に3つのコミュニティ・スクールが立ち上がっても、本当に有効的なものになっていくためには、何年かかかると思います。コミュニティ・スクールを活用するというのも大切なんですけど、違う表現も必要ではないかと思います。コミュニティ・スクールの方にプレッシャーがかかりすぎてしまうということもよくないと思います。

松本教育長

今の子どもたちをどういった環境で育てるのがよいのかという意識を学校と地域と家庭で共有できるかということが大変重要です。子どもが育つ条件として子育ての社会化ということが言われています。家庭の中だけでは子どもは育たないということです。これまでの日本での考え方は、子育ては家庭が1番という発想でしたが、子どもの経験は家庭の中だけではなく、さまざまな人と関わりながら自分自身を発見していくことが必要です。家庭で孤立化してしまうと、力が伸びなくなってしまう。子育てを社会化して、いろいろな人が関わるような機会

が必要です。そういった考え方が広がってきています。皆さんで理解しながら、みんなで育てるという意識改革にまだまだ時間がかかると思います。でも、その方向に持っていくことが子どもにとってはよいことですので、環境をよくしていきたいとします。そのほか質問等ありませんか。（なし） つづいて報告事項に入ります。

【4. 報告事項】

《教育総務課 生涯学習課 行事等報告》

松本教育長 ただいまの報告について質問等ありませんか。

中田委員 竹内町のオコナイ調査事業報告会とはどういったことでしょうか。

黒崎課長 竹内町のオコナイというのは、県の記録作成を講ずべく無形の民俗文化財になっていまして、平成29・30年度に調査事業を行いました。調査事業の冊子が平成30年度に完成し、その報告を主に地元の人を対象に報告会を開催しました。オコナイというのは、もともと農事祈願のまつりと仏教の法会が習合したものといわれていて、近畿地方でよくみられる行事です。鳥取県では竹内町にしか残っていません。講元といわれる15の世帯が持ち回りで毎年行事を執り行っています。どの世帯も高齢化していて、この行事を続けるのが難しいというような話もありますが、この先、記録作成だけではなくとんどみたいに文化財指定ということもありえます。

中田委員 地区が違うとなかなか知る機会がありませんでした。

黒崎課長 新聞で紹介された際にも、地元の方が報告書を受け取りに来ていました。

松本教育長 そのほか質問等ありませんか。（なし） つづいて小中学校の小型除雪機について報告をお願いします。

《教育総務課 報告》

松本教育長

ただいまの報告で質問がありませんか。

中田委員

除雪機で除雪した後に雪がたまってしまうので、場所によっては井戸水が出るようにして融雪すると効果的かもしれません。災害があったときにも井戸水が有効である場合もありますので考えてみるのもよいと思います。

松本教育長

学校では、給食の配送車が入れるように除雪する必要もあり除雪機を導入するようにしました。中田委員がいわれたような意見を他からも聞いたことがありますので検討してみてもよいかもしれません。そのほか質問等ありませんか。(なし)

【5. 閉会】

松本教育長

それでは議題は終了しました。本日の定例委員会は閉会といたします。ありがとうございました。